第２位　　「私の考える日本」

アリド　アリディアンシャー　さん　（インドネシア）

こんにちは。私の名前はアリドです。インドネシアからきました。

今日は私は「私の考える日本」について話したいと思っています。

こどものころから私は日本にきょうみを持っていました。そしてあこがれていました。１年前に、やっと日本にくることができました。

日本に来たばかりのころ、まずおどろいたのは日本のサービスです。日本のサービスはお客様をさいだいげん尊重するものです。

ある日、私はケーキを買いにいきました。そこで自分のケーキを選んで持ち上げたところ、あやまってそのケーキを落としてしまいました。あわてて拾おうとすると、店員さんがすぐに私の近くにきて、「お客様、お洋服はよごれませんでしたか。ケーキはもういちど選んでお取りください」と言ってくれました。でも私はもうしわけない気持ちでしたが、帰るときもその店員さんは笑顔をたやさず、「ありがとうございました。またお待ちしております」と言いました。私はおどろきと、かんどうの気持ちでいっぱいになりました。

それからいろいろな店に行きましたが、日本の細かいサービスはいつも私をおどろかせ、感動させます。

たとえば、お店には入りぐちに傘立てがあります。ごみや水をお店の中にいれないことがお店にとってもお客様にとってもゆうえきで、せいけつかんがあります。また、仕事中も運転中もいつでも安全が優先され、みんなルールを守ります。電車の中でも他の人に迷惑になることはしません。他の人へのそんちょうの気持ちがありますから、静かにすることができます。ごみもむだにしないように、リサイクルに力を入れていますし、ゴミ捨てのルールもきちんと守ります。

日本人はお互いのことをかんがえて、おたがいが困らないようにこうどうすることができます。

このような経験から得たちしきは将来私の国でやくにたつと思っています。それをどうやって応用するかは自分しだいです。もっともっと知って、もっともっと学びたいです。

私は日本での就職をめざしていますが、実現させます。そしてインドネシアの発展のために行動すると約束します。

以上です。

ご清聴いただきありがとうございました。